



# ストップ狂犬病

犬の登録と予防注射は飼い主の義務

問い合わせ 環境課 (市庁舎6階、☎65・4136)

狂犬病は、狂犬病ウイルスを持つ犬などの動物にかまれたり、ひつかかれて感染する人獣共通感染症です。治療法はなく、発症すると、ほぼ100パーセント死亡するといわれる恐ろしい病気です。

日本は清浄国ですが、世界のほとんどの地域で発生が見られ、日本にも侵入する恐れがあるため、万が一に備えることが大切です。畜犬登録と狂犬病予防注射はなぜ必要なの？

狂犬病のまん延を防ぐために、日本は清浄国ですが、世界のほとんどの地域で発生が見られ、日本にも侵入する恐れがあるため、万が一に備えることが大切です。畜犬登録と狂犬病予防注射はなぜ必要なの？

狂犬病予防法により、生後91日以上の犬は生涯に一度の登録と、年に一度の狂犬病予防注射の接種が義務付けられています。これは屋内で飼育している犬も同様です。人も犬も安心して暮らせるまちづくりにご協力ください。

## 畜犬登録の手続き

畜犬登録とは、市町村に飼い犬の所在地、犬種、生年月日などを届け出ることです。この登録により、人間でいう戸籍に当たるものが作られます。登録手続きをすると、「鑑札」と「門標」が交付されます。鑑札は首輪につけ、門標は家の入り口などの見やすい場所に貼ってください。登録手続きは次の場所のほか、受け付け可能な動物病院もあるので、各動物病院に問い合わせください。

場所 環境課、大正支所(大正本町西1)、川西支所(川西町西2)、一部の動物病院  
登録手数料 3000円

## 狂犬病予防注射の手続き

狂犬病予防注射は、動物病院などで接種でき、接種後、「狂犬病予防注射済証」と「狂犬病予防注射済票(プレート)」が交付されます。

注射済票が交付されなかった場合は、接種後に渡される「狂犬病予防注射済証」を持参の上、環境課で注射済票の交付を受けてください。  
狂犬病予防注射済票交付手数料 550円



# アライグマにご用心

アライグマの生態と防除

問い合わせ 目撃情報などは環境課 (市庁舎6階、☎65・4136)、農業被害に関する場合は農村振興課 (市庁舎7階、☎65・4173)

## アライグマの増加による悪影響

アライグマは、もともと北米大陸からペットとして日本に輸入され、逃げ出したものが野生化し、増えたとされています。

雑食で繁殖力が強く急激に個体数を増やし、納屋などをすみかにして汚します。また、農作物や水産物、家畜飼料、地域特有の動植物を食べるなど悪影響をもたらすとして、特定外来生物に指定されています。

## 帯広市でも個体数が増えています

帯広市でのアライグマの捕獲頭数

数は、平成27年度まで年間1〜2頭でしたが、平成28年度以降急増し、令和3年度は62頭となつています。農業被害も拡大しており、令和2年度の北海道における被害額は、約1億4200万円となりました。

北海道にはアライグマの天敵となる生物がいないため、個体数の増加とさらなる被害の拡大が懸念されています。

## 目撃情報をお寄せください

市ではアライグマによる被害を防ぐために、アライグマに関する情報を集めています。アライグマを見掛けたり、足跡を見つけた場合は連絡してください。

## アライグマってどんな生物？



アライグマの足跡 (農林水産省「野生鳥獣被害防止マニュアル」)

環境省提供

- 暮らし** 夜行性。水辺の近くを好み、寒さに強く、北海道の冬も問題なく過ごせる。
- すみか** 樹洞、家屋の屋根裏や畜舎、物置、牧草ロールの隙間など。
- 食べ物** 雑食性。果物、トウモロコシ、家畜飼料など。
- 見た目** タヌキと似ているが、尻尾がしま模様で顔は眉間に黒い線がある。体重は4〜10キログラムほどで、柴犬ぐらいの大きさ。歩いたところに人の手足のような足跡が残る。

## レ・ミン・ゴック(ベトナム出身)

勤務先：森の交流館・十勝

昨年10月に来日し、国際交流員として森の交流館・十勝に勤めています。

もともと日本の文化に興味があったので、大学で日本語を専攻しました。

2019年10月から11カ月間、東京に留学したことがありますが、帯広に住むのは初めてです。

これまで、市内小学校や森の交流館でのイベントで、母国紹介や関係団体が行う行事の運営に携わってきました。引き続き、日本人と外国人が気軽に交流できる場や、ベトナム人をはじめとするさまざまな国の人たちと市民の皆さんのつながりを作ることに全力で取り組んでいきたいと思っています。

特技 動画編集

趣味 料理、写真撮影

好きな食べ物 焼き肉、お寿司、たこ焼き



▲旅行も大好きです



▲学校での母国紹介の様子



# 帯広市の国際交流員を紹介

ベトナム・アメリカ出身の2人が活躍中

問い合わせ 観光交流課 (西20南6、森の交流館・十勝内、☎34・0122)

国際交流員は、市の事業の通訳・翻訳のほか、国際交流イベントの企画、国際姉妹・友好都市との連絡調整、学校訪問、母国文化紹介など、さまざまな業務を担っている外国人出身の職員です。

現在、帯広市には2人の国際交流員がいます。

国際交流員がラジオに出演しています

月1回、国際交流員が、FM JAGGのDJ栗谷昌宏氏と、母国の文化や習慣、日常生活で気付いた日本との違いなどについて、楽しく語り合っています。



市ホームページ ID. 1001473

番組名 FM JAGG「十勝魂778」  
出演日時 毎月最終火曜日、17時30分〜18時のうち15分程度